
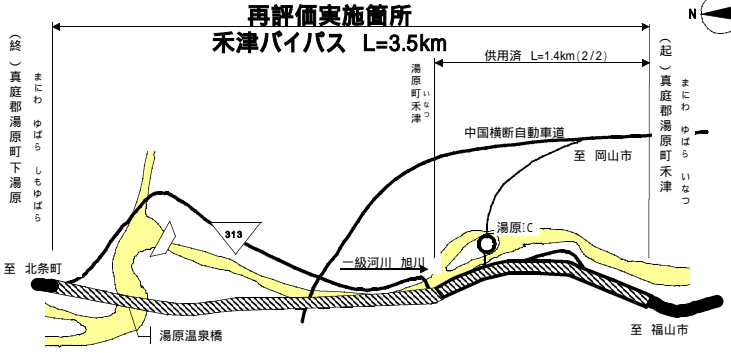


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島 威夫

事業名：一般国道313号 禾津バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：岡山県								
起終点：自：岡山県真庭郡湯原町禾津 至：岡山県真庭郡湯原町下湯原		延長：3.5 km								
事業概要 一般国道313号は、山陰と山陽を連絡し、岡山県西部の井笠、高梁、真庭地域の産業、経済の発展を担う重要路線で、広島県福山市を起点とし鳥取県東伯郡北条町に至る実延長約16.9kmの幹線道路である。禾津バイパスは、中国横断自動車道岡山米子線湯原ICにアクセスする区間で、今後増加する交通量に対処することを目的とした、岡山県真庭郡湯原町の延長約3.5kmの道路である。										
S60年度事業化	都市計画決定なし	S60年度用地着手								
H元年度工事着手										
全体事業費	約65億円	事業進捗率								
計画交通量	5,800台/日	供用済延長								
		1.4 km								
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 1.0 (残事業) 7.5 総費用：(残事業)/(事業全体) 10 / 90 億円 (事業費：7 / 83 億円) (維持管理費：3 / 7 億円)	総便益：(残事業)/(事業全体) 75 / 92 億円 (走行時間短縮便益：70 / 87 億円) (走行費用減少便益：4 / 4 億円) (交通事故減少便益：1 / 1 億円)	基準年：平成15年							
感度分析の結果 残事業（全体事業）について感度分析を実施 交通量変動：B/C=7.9(1.1)(交通量+10%) B/C=6.4(0.9)(交通量-10%) 事業費変動：B/C=6.7(1.0)(事業費+10%) B/C=7.7(1.0)(事業費-10%)										
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（落合町～倉吉市の日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する） ・個性ある地域の形成（湯原温泉へのアクセスが改善される） 他9項目に該当										
関係する地方公共団体等の意見 一般国道313号禾津バイパスは、地域交流の促進、道路の防災対策等に重要な役割を果たすことが期待されており、湯原町をはじめとする関係2市12町5村の首長により構成される国道313号整備促進期成会より早期整備の要望（平成15年7月23日）を受けている。										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成4年12月に中国横断自動車道（岡山米子線）落合JCT～米子ICが供用し、当該区間の交通量が増加した。（S58 2,777台/12h H11 4,928台/12h）										
事業の進捗状況、残事業の内容等 中国横断自動車道（岡山米子線）湯原ICに直接関連する約1.4kmの区間については、平成4年度に部分供用を図ったところであり、残る区間についても、改良工事は概成し、平成16年度に舗装工事を予定している。										
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収に際し、一部地権者の単価等不満、また代替地要望により交渉が難航し、妥結に長期間を要したが、平成16年度の供用を目指し事業の促進を図る。										
施設の構造や工法の変更等 特になし										
対応方針	事業継続									
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。									
事業概要図										
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> <tr> <td></td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td></td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>うち供用中</td> </tr> </table>	凡 例			供用中		再評価箇所		うち供用中	
凡 例										
	供用中									
	再評価箇所									
	うち供用中									

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。